

ニッポン小唄

写真学科
勝倉峻太

Nippon Kouta

Department of photography
KATSUKURA Ryota

2011年11月1日、祖母（当時85歳）が入院した。幸い極めて軽い脳梗塞で、2週間くらいで退院できるとのことだった。何度か見舞いに行き、頼まれた女性週刊誌も渡し、持っていくものがなくなった。考えたあげく、私は青梅へ車を走らせた。

祖母はよく戦争当時の話をしてくれる。青梅で生まれ育った祖母は乗っていた電車を機銃掃射で狙われた等、怖い思いをしたそう。ある日、近くの山にB-29戦闘機が墜落した。その翌日、友人数名と連れ立って自転車で墜落現場に向かった。近づくほどに部品がちらばっていた。もう少しで墜落現場という所で消防団に止められ、戦闘機にはたどり着けなかった。私はこの話がとても好きだ。当時はいつ空襲があるかわからなく、どこか死の恐怖を感じる毎日であったように思う。そんな状況にあっても野次馬根性に溢れ、好奇心旺盛な祖母が頼もしく思えるからだ。

当時の青梅の状況を調べていると、その時墜落したB-29のエンジンが青梅の博物館に保存されている事を知った。私はエンジンを写真に撮って、祖母の見舞いに持っていく事にしたのだ。エンジンの写真を見た祖母はたいそう喜んでくれた。そして当時のことを色々思い出したとまた多くのことを話してくれた。

この世に生まれてきた人それぞれに人生があり、歴史がある。何万年と続く人類の膨大な歴史の中で、個人個人の歴史は埋もれ忘れ去られていく。しかし、私は大きな歴史はもとより、その中の小さいけれど確かに存在した個人の歴史にも興味がある。その小さな歴史を知る事により大きな歴史が少しだけでも身近に感じられるようになると思う。

数多の先祖達が誰もが知っている歴史の1ページの出来事を乗り越え、生き抜き、繋がり今の私がある。あの日、あの時、私の先祖が何をしていたか、何を感じ、どう考えていたのか？ 聞きたい事は山ほどある。そしてこれから数百年後の世の中に私の子孫は存在しているのだろうか？ 私が子孫に話せる事はあるだろうか？



縄文人の骨 北村遺跡 長野県立歴史館 長野



吉見百穴 古墳時代の集合墓跡 埼玉



山伏 高尾山火渡り祭 東京



大谷石採掘場 旧帝国ホテルに使われた石の採掘場 栃木



青梅に墜落した B-29 のエンジン 東京



大久野島 秘密の毒ガス工場があった島 広島



旧天願橋 地元の人が「アメリカ軍が爆撃した橋」と教えてくれたが、後に調べてみると旧日本軍が米軍阻止の目的で自ら爆撃していた。沖縄